川崎市育成会手をむすぶ親の会　幸支部

幸通信No.8

発行日　平成２７年８月１日

うっとうしい梅雨が明け、強い日差しを感じる季節になりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」の活動は、支部ごとの活動や委員会の働きが基礎となっています。その支部活動においては、幸支部の皆様の声が一番大切ですので、お気軽にご意見をお聞かせください。

よろしくお願いいたします。　（幸支部役員一同）

幸区役所新庁舎完成

新庁舎入口

ご存じのように、５月の大型連休明けより、幸区役所新庁舎で業務が開始されています。私達が訪れた日は、「夢こんさあと」の開催日（詳しくは、４ページをご覧ください。）でした。

ラウンジヤマブキ

新庁舎は、白を基調とした内装で、１階には、「市民活動コーナー」、「ロビーハナミズキ」、４階には「ラウンジヤマブキ」があり、幸区民の活動を支えたり、憩いの場を提供したりできる作りになっていました。３階には「キッズルーム」があり、予防接種や保育園の申込み等の届出の待ち時間などに子どもと保護者が一緒に安心して過ごせる場所になっているそうです。

お世話になった旧庁舎

さて、新庁舎の「夢こんさあと」も終わり、外に出てふりかえると、解体をじっと待っているような旧幸庁舎が目に飛び込んできました。そんな旧庁舎を見ているうちに、暑い夏の日、現況届に印鑑を押しに行ったことや、寒い中、バスの乗車割引券をもらいに行ったことを思い出しました。

「さよなら、ありがとう、旧庁舎」、「こんにちは。よろしく、新庁舎」、そんな気持ちになりました。

（仁尾　智都子）

「障害者差別解消法」とは？

来年４月に施行される「障害者差別解消法」ですが、どんな法律なのか、調べてみましたので、簡単に紹介いたします。

１、「障害の医学モデル」と「障害の社会モデル」

障害とは何？と考えるとき、２つの考え方があるそうです。一つは、**「障害の医学モデル」**といわれるもので、これは、障害を個人の機能障害ととらえる考え方です。もう一つは、**「障害の社会モデル」**で、こちらは、個人の機能障害のことを考えないで作られた社会（社会的障壁）に問題があるという考え方です。

２００６年に国連総会で採択された「障害者権利条約」は、「障害の社会モデル」の考え方で作られ、この考え方が国際的なルールとなりました。日本は、２０１４年に、この条約に批准（議会で承認されること）しました。

２、「合理的配慮」の提供

「障害の社会モデル」では、機能障害のある人のことを考えて社会を作ります。ですから、階段だけではなく、車いすの人も使えるエレベーターを設置しなければなりません。また、そのような設備設置だけでなく、分かりやすい言葉や絵で説明をする、難しい漢字にルビをふるといった配慮も必要になります。これが、「合理的配慮」です。そして、障害があっても「合理的配慮」の提供を求め、社会への参加を妨げない暮らしを作っていきます。「障害者差別解消法」では、この「合理的配慮」の提供について規定しています。障害がある人もない人も一緒に暮らしていける共生社会を実現するための法律が「障害者差別解消法」です。

４、「障害者差別解消法」の施行に向けて

来年４月、「障害者差別解消法」が施行されて、知的障害のある人も、「合理的配慮」を求め、生活しやすく、その人の能力を全開で発揮できるようになるとよいなぁと思います。まずは、ちょっとでも「困ったな。」と感じたら、「〇〇してもらえると助かるのですが、お願いできますか。」と、声をかけることを身に付けないといけないように思います。　　（仁尾　智都子）

日本障害フォーラム（ＪＤＦ）発行のパンフレット「障害者差別解消法ってなに？」参照

第１回　福祉ものつくり展

福祉ものつくり展入口

５月２９日（金）から６月１日（月）まで、東急百貨店吉祥寺店で、ありがとうショップ主催の「福祉ものつくり展」が開催されました。

ありがとうショップは、就労継続支援Ｂ型事業所の製品を中心に販売し、障害のある人の賃金アップ、自立支援を行っているそうです。当日の会場には、日本全国から集められた魅力あふれた製品が並び、商品説明もわかりやすく試食や試飲あって、購買意欲を掻き立てられました。自分で描いたイラストを販売している方もいて、売り場で制作もしていました。

製品、いろいろ

また、この活動を応援している砂長美ん（すながびん）さんの明るく元気な笑顔も拝見することができ、充実した１日となりました。

（仁尾　智都子）

「喫茶つくし」幸市民館１階にオープン

前号でお知らせした、「喫茶つくし」がオープンしましたので、ちょっと、おじゃましてみました。

ちょうど、お昼前ということもあってか、お客さんが次々と入ってこられ、皆さん、ガラス張りの明るい店内でくつろいでいました。

私達は、「ナンピザ」と「ナンドック」を飲み物とデザート付きのセットメニューで注文（写真）しました。この日のデザートは、コーヒーゼリーでしたが甘さがちょうどよく、大変、おいしくいただきました。もちろん、「ナンピザ」、「ナンドッグ」も、おいしかったです。

皆さんも、ぜひ、立ち寄ってみてください。

（髙山　君子・仁尾　智都子）

向こう側がナンピザ、手前がナンドックです。セットメニューには、飲み物とコーヒーゼリーがついていました。

音楽のまちかわさき

第 132 回　夢こんさぁと

６月１８日（木）完成したばかりの幸区役所新庁舎１階ロビーハナミズキにて、「夢こんさぁと」が開催されました。出演者に、ソプラノ歌手の小林礼子さんとピアノの小林瑤子さんを迎えて、童謡や唱歌を中心とした約 40 分のコンサートでした。当日は、320 人もの参加者で、座席を追加しても立ち見で満員の大盛況でした。

今回のプログラムは、特に小林礼子さんの思い出のある曲、深く心に響いた曲を選んだとのことで、豊かな声量で美しく響くメロディーは、心の奥深くまでしみわたるようでした。中でも、女屋靖子さんの母への思いをこめた詩の連作を組曲のように仕上げた作品は圧巻でした。作曲は、誰もが良く知っている「さっちゃん」で有名な大中恩先生で、ご本人が会場にいらしていてびっくりしました。先生は、かなりのご高齢ですがとてもお元気で、先生自ら指揮をされて全員で「さっちゃん」を歌いました。こんな思いがけないサプライズがあり、また、アンコールも、小林さんと会場の全員で誰もが子どものころに歌った懐かしい歌を何曲も合唱しました。

この「夢こんさぁと」は、出演者と観客が一体となって楽しんだ、本当に夢のようなコンサートでした。　（髙山　君子）

幸のほっと❤スポット　File4　多摩川の馬

現代の都市部に住んでいて、馬を見る機会はあまりないと思います。でも、幸区には競走馬を身近に見られる場所があります。

それが、多摩川大橋近くの「川崎競馬小向練習場」です。小向仲野町にある厩舎と多摩沿線道路を挟んだ向かい側の多摩川の河川敷にある小向練習場には複数のダートコースがあります。美しい競走馬が、疾走していく姿は、スピード感と迫力があります。

練習は、早朝に行われるそうで、午前９時くらいには厩舎に帰ってしまうようですが、馬がいる時は土手の上からでもよく見えます。ただし、あくまでも馬のため練習場なので、馬が驚くようなことは厳禁です。写真を撮るときもフラッシュは発行禁止にするなど、馬へのマナーは忘れずに！こんなに気軽に競走馬の練習風景が見られるのは実は珍しいとのことなので、興味があったら早起きして多摩川に行ってみましょう。多摩川の馬、素敵です。　（髙山　君子）

こんな標識も！